

今までの努力や準備が実を結ぶ1年へ

当所議員新年会が開催されました

館林商工会議所議員新年会が1月9日（木）、館林市の日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホールにおいて開催された。当所役員・議員など約170名が出席し、新年を祝した。

正田会頭は、「今年の干支は乙巳（きのと・み）で、多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高い年です。昨年は能登半島沖地震からのスタートとなり、政治も不安定な状況が続いています。大企業と中小企業との共存共栄により、価格転嫁や賃上げなどが可能になり適正な経済の循環を生むことを期待しています。今年も、会員満足度の向上、会員拡大及び財政改善、職員の育成の3つの基本姿勢を念頭に、会員の皆さまに寄添いながら、資金繰りや人手不足、事業承継などの課題解決に向けてチャレンジしていきたい。」とあいさつした。

続いて、山本県知事、多田市長、渋谷市議会議員、笹川・長谷川・福重衆議院議員、中曽根・清水参議院議員、須藤県議会議員より祝辞をいただき、正田会頭と多田市長によるダルマの目入れがミス館林フラワーレディのアシスタントのもと行われた。

式典終了後には、会場を文化会館に移して立食形式での懇親会が行われた。年男年女による鏡開きに続いて松本隆志県議会議員の音頭で乾杯がなされ、参加者たちは懇親を深めていた。



1月18日（土） 仲町交差点付近にて

新春恒例！ 初市（だるま市）が開催されました



新春恒例、館林の初市（だるま市）が1月18日（土）、仲町交差点周辺で開催され、縁起物のだるまを買い求める市民ら約一万二千人で賑わった。

初市は市繁栄と産業振興を図るため、130年以上前から開催される伝統のあるイベント。本年は会場を昨年と同様の仲町交差点周辺の総延長150メートルで実施した。露店もだるま商や飲食の屋台37店が軒を連ねた。

当日は天候にも恵まれ、土曜日の開催ということもあり、会場には家内安全を願う家族連れや、商売繁盛を願う経営者、合格を祈願する中高生らがダルマを求め訪れた。屋台で販売された唐揚げやらがきせんべいを頬張るなど、多くの来場者たちが新春の祭りを楽しむ姿が見られた。

20日（月）には会社や自宅などに一年間飾られ、願掛けの終わっただるまへの感謝の気持ちを込めて、だるま供養が行われた。



「会員のひろば」で自社をPRしませんか？

当所では会報「商工たてばやし」の、会員紹介コーナー「会員のひろば」に掲載を希望する事業所を募集しています。会社やお店、自慢の製品やサービスなどを館林中にPRしてみませんか？掲載料は無料となりますので、この機会にぜひご利用ください！

本件に関するお問い合わせは館林商工会議所 会報担当者（Tel. 74-5121）まで。

